

平成9年度第4回定期研究会 議事録

日時：平成9年10月29日(水) 15:00～17:00

場所：名古屋大学大学院 土木工学専攻 会議室

出席者：青島，安藤，荒瀬，家村，猪瀬，宇佐美，大岩，岡本(ハシヅカ)，織田，貝沼，勝俣(代理：中田)，加藤(長大)，加藤(中日本)，加藤(愛知県)，櫛田，熊沢，熊田，小澤，桜井(東骨)，桜井(豊田工)，塩見，清水，西岡，羽田野，古市，前田，松井，水野，山田，吉川，吉田，渡辺 (以上32名)

1. 定期研究会

(1) 幹事会報告

1) 事務局の事務作業の分担について

幹事会から事務作業の分担(案)について説明があった。下記のように決定された。

- ・ 会員で行える作業については、分担することとなった。例えば、懇親会の世話については、大学以外の会員で行っていただく。
- ・ 会員台帳などデータベース関係は、事務局以外の大学で行っていただく。
- ・ 極力アルバイトを使って、作業を減らす。

以上のことで当分やっていき、良い方法を模索することとなった。

2) 研究費について

1 研究委員会当たり、上限を50万円とすることとした。

3) S G S T ロゴマ - クについて

優秀作および佳作について発表があった。

(2) 平成9年度第3回技術講座「土木構造物の耐震・免震技術の現状と将来の展望」の開催について 技術講座およびその申し込み手続きについて説明があった。(名大 宇佐美)

(3) 研究委員会の活動について

1) 構造設計における「かたち」の決定プロセス，委員長 塩見 (中部大)

2) 橋梁の補修補強の事例研究，委員長 山田 (名大)

活動内容および活動報告があった。

(4) 議事録の確認

時間の関係上，各自で確認して頂くことになった。

(5) 講演

1) 「阪神高速道路における鋼構造物の維持管理について」 西岡敬治 (阪神高速道路公団)

阪神高速道路網，維持管理方法，維持管理における今後の検討課題について報告があった。

2) 「土木設計と感性工学」 塩見弘幸 (中部大学)

感性工学に用いるための基礎知識および斜張橋への応用例について報告があった。

2. 次回の研究会

日時：平成9年12月17日(水) 15:00～17:00 場所：名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 会議室

講演：「グラフ理論を応用したうす肉断面の計算」 桜井孝(東京鉄骨橋梁 技術本部)

「海外における複合構造橋梁について」 田中信治(中部復建株) 設計第1部

3. 懇親会

日時：平成9年12月17日(水) 18:00～20:00 場所：浜木綿

*平成9年度会費納入のお願い。

以下の銀行口座に振込を**至急**お願い致します。(定期研究会にて、現金でも可。)

さくら銀行 本山支店 店番号 484 普通口座 5367830 東海構造研究グループ

会費 正会員 : 2,000円 賛助会員 : 1,000円

特別会員 : 30,000円 研究委員会分担経費 : 70,000円

*会費の納入に際し、請求書が必要な場合にはSGST事務局まで、至急御連絡下さい。

*事務局の省力化に伴い、議事録、案内等の発送をE-mail化しております。E-mailを御使用の方は、E-mailアドレスを事務局(貝沼：i45313a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp)までお知らせ下さいませようお願いします。